

< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	八戸医療生活協同組合	事業所名	生協看護小規模多機能ホーム虹の家
所在地	(〒 031-0004) 八戸市南類家 1 丁目 13 番 10 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・医療依存度の高い方の受け入れ
- ・医療処置や介護指導等が必要な場所でも途切れないサービスをなじみのスタッフが提供している
- ・医療、介護の連携により自宅・事業所を問わず看取り対応

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 8 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	(24) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 01 月 15 日	出席人数 (合計)	(11) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (3 人) ☐ 市町村職員 (1 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (2 人) ☐ 地域住民の代表者 (2 人) ☐ 利用者 (人) ☐ 利用者の家族 (人) ☐ 知見を有する者 (2 人) ☐ その他 (1 人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・知識、技術を向上するための学習計画や情報共有の仕組みを作り人材育成に取り組む。 ・目標シート作成し個々の目標が達成できるよう面談を実施、進捗状況を確認しながら進める。 ・喀痰吸引やWEBでの研修により職員全員が学習できる体制づくり	・毎月職場会議において学習会開催。 ・法人全体でのWEBでの研修会開催。 ・前期、後期と目標シートを作成、面談を実施。 ・医療的ケア、喀痰吸引、経管栄養など学習会を開催。	・毎月職場会議において職員が主体となり学習会開催している。また、法人全体でのWEBでの研修会も開催し、職員のスキルアップに取り組んでいる。 ・前期、後期と目標シートを作成し、個々の目標が達成できるよう面談を実施している。 ・喀痰吸引等研修への参加、喀痰吸引・経管栄養が安全に実施できるよう定期的に手技確認実施している。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・日々の関わり、ケアの中で小さな変化に気づく視点を持ち、気づいたことは積極的に発信し合い、情報共有に努めている。 ・多職種連携にて状態の変化を共有して個別ケアに取り組む。	・多職種間で情報共有、多職種との連携体制構築。	・日々の状態観察、生活の中で小さな変化に気付く視点を持つよう意識し、いつもの状態を知るように努めている。得た情報は多職種間で発信し合い情報共有に努めている。 ・定期的、または随時多職種でカンファレンス開催し、必要時プランの見直し、調整を図っている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・医療との連携を図り医療依存度の高い方も引き続き受け入れていく。 ・在宅での看取りも安心してできるように介護、看護が連携して支援していく	・退院前のカンファレンスへの参加。 ・病院、施設との情報共有、連携体制を整備。 ・看取り介護についての学習会。	・退院前のカンファレンスに参加し、病院、医師、施設間で情報共有を図っている。また、在宅生活を支えるうえで利用者、家族の不安を軽減できるよう、安心して在宅での生活が送れるよう、サービスの調整、提案を随時行っている。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・地域行事に参加する事で地域の方々と関わる機会を増やし事業所について理解を深めて頂く。	・チラシ配り、他事業所への営業活動を実施。 ・ホームページに掲載、随時更新し情報発信している。 ・町内活動への参加。	・町内へのチラシ配布、また他事業所への営業活動に取り組んでいる。 ・運営推進会議で活動状況について発信はできたが、施設をもっと知って頂けるよう、町内に向けて発信する場を増やしていく必要がある。看多機の役割、機能について発信できる機会を増やしていく。(町内会への参加)
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・主治医、訪問看護と連携を図ることで利用者様及び、ご家族様に安心して在宅介護を継続して頂く。	・利用者の状態変化、悪化時などの際には、主治医、訪問看護等と連携。	・在宅生活を安心して送ることが出来るよう、日々の状態観察に努め、小さな変化を見逃さず、多職種間で情報共有に努めている。 ・在宅生活を支えるうえで利用者、家族の不安を軽減できるよう、安心して在宅での生活が送れるよう、サービスの調整、提案を随時行っている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・看多機の特徴、役割を踏まえ、事業所の理念の明確化、具現化。個々の経験値、価値観による ・人材育成において、個々の目標達成に向け、面談を実施しスキルアップを図る。	・理念の再確認、共通認識する。 ・理念に基づき、利用者の尊厳を守り、その人の望む暮らしを支えていく。
Ⅱ. サービス提供等	1. 利用者等の特性・変化に応	・日々の状態観察、生活の中で小さな変化に気付く視点を持つよう意識し、いつもの状態を知るように努め、得た情報は多職	・多職種間で情報共有、多職種との連携体制構築。 ・状態悪化時など、適宜多職種でカンファレンス開催し、サー

の評価	じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	種間で発信し合い情報共有に努めている。 ・定期的、または随時多職種でカンファレンス開催し、必要時プランの見直し、調整を図っている。 ・カンファレンスの開催は定期的にできており継続していく	ビスを調整し、在宅生活を安心して送ることが出来るよう支援していく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・退院前のカンファレンスに参加し、病院、医師、施設間で情報共有を図っている。また、在宅生活を支えるうえで利用者、家族の不安を軽減できるよう、安心して在宅での生活が送れるよう、サービスの調整、提案を随時行っている。	・退院前のカンファレンス実施。 ・毎月多職種によるカンファレンス実施。 ・利用者の状態変化、悪化時などの際には、主治医、訪問看護等と連携を図る。 ・安心して在宅での生活が送れるよう、適宜サービスの調整を図る。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・町内活動への参加、地域の方との交流を図り、事業所を知って頂く機会を多く得る。	・運営推進会議にて事業所の活動状況の報告。 ・町内活動への参加(清掃活動など)。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○				✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・医療ニーズの高い利用者様を積極的に受け入れている ・緊急、急遽のお泊りや利用にも柔軟に対応できている。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○				✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・看多機の特徴を理解し業務に当たっている。 ・在宅生活を支える視点でとらえるようにしている					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○				✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・育成計画を作成し実践できている ・育成計画のおかげで安心して仕事ができる。 ・分からない事は自ら発信確認している ・面談の時間が取れない事がある。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○				✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・法人内外の研修への参加、スキルアップを図っている。 ・参加の機会が図られており参加するようにしている。 ・シフトの関係で参加できない事がある					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専						✓ 「情報を共有する機会」の充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	門員の間で、職員が相互に情報 を共有する機会が、確保さ れている						を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケー スについて話し合うための、定期 的なカンファレンスの開催」など が考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要 望、助言等を、サービスの提 供等に反映させている						✓ 「得られた要望・助言等のサービ スへの反映」の視点から、充足度 を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 要望があった機能訓練が出来機能維持 がおこなえている。 ・ 業務会議で情報の共有をし要望や助言 をサービスへの反映に努めている。 ・ サービスに反映されている部分は多い が反映されていない部分もあるので今後 どのように反映していくか考えて行かな ければならない。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことが						✓ 「職員が、安心して働くことので

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	できる就業環境の整備に努めている						きる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている						✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている						✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている						✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている						✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		【具体的な状況・取組内容】 ・ケアマネのプランに基づいて利用者さまに合ったサービスを提供している。 ・利用者様に状態変化あった場合は都度カンファレンスを行いプランの変更を行っている。 ・家族、介護者の状況については良く分かっている部分がある。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている						✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		【具体的な状況・取組内容】 ・担当者会議や日々の業務の中で必要に応じ確認し合い共有している。 ・日々のケアの中で気づいたことを積極的に発信し情報の共有につとめている。 ・職場会議や日々の合間に介護、看護間で情報共有している。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考え						✓ 「家族等の考えを含めた計画の作

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている						成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている						✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の						✓ 「状況変化の予測」と「リスク管

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている						理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている						✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に						✓ 「訪問による、家族等を含めた居

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している						宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている						✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている						✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている						✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、						✓ 「看護職の専門性を活かした、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおそ できて いる	あまりで きていな い	全く できていな い		
	疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている						護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる						✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		るようにしたい。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている						✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・留意すべき点について分かりやすく説明し理解して頂けるよう努めている。 ・プランは分かりやすい内容で具体的に説明されていると思う。 ・ケアマネ、所長を中心に分かりやすく説明し理解を得ている。 ・理解を得てはいるがホームでの生活が主となっているようにも感じる。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている						✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者様に対し行う医療処置や医療機器に関して分かりやすく説明し理解を得ている。 ・看護師を中心に説明し理解を得ていると思う。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・利用者様、ご家族様が安心、安全に行 えるよう説明出来ている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族等） の希望や意向を把握し、サー ビスの提供に反映している						✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・状態変化が見られたときにはその都度 本人、家族の意向を確認しサービスの提 供に反映している。 ・希望や意見の把握に努めサービスの景 況を実施している。 ・終末期における利用者様（家族）の希 望は相談できていると思う。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定し、 その際の対応方針等につい て、利用者等と相談・共有す ることができている						✓ 「将来に発生し得る様々なリスク を想定した上での、対応策の検討 と共有」について、充足度を評価 します
		[具体的な状況・取組内容] ・状態変化が見られたときにはその都度 本人、家族の意向を確認しサービスの提 供に反映している。 ・希望や意見の把握に努めサービスの景 況を実施している。 ・終末期における利用者様（家族）の希 望は相談できていると思う。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している						✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している						✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている						✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・各利用者様の緊急時の対応などについて主治医からの意見を仰ぎ相談・説明・共有出来ている。 ・主治医、看護師と連携し実施出来ている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている						✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・緊急時の対応については本人・家族様には看護師に連絡をしていただくようお願いしている。 ・緊急時は訪問看護に連絡しすぐに対応できる用体制が整備されている。 ・診療所が主治医の利用者様については緊急時に即座に対応できる態勢が出来ているが他の主治医の方は把握できていない所がある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている						✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている						✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・参加していない職員の中には内容を把握できていない人もいます。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている						✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 の視点から、充足度を評価します
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている						✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・正職員、パートを問わず積極的に喀痰吸引の研修に参加し資格の取得に取り組んでいる。 ・受け入れ態勢が整っており現状吸引が必要な方のご利用を頂いている。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている						✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・現在人工呼吸器を使用している方はいないが受け入れの体制は整っている。 ・現在該当者がいない ・受け入れ体制は出来ていると思うが異動に伴う職員の出入りもある為受け入れに際して人工呼吸器についての研修を行った方がいいと思う。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている						✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシステ ムの構築方針や計画の内容 等について理解している						✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解すること が必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などがない場合は、「全くで きていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している						✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている						✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ できて い る	あまりで きてい ない	全く できて い ない		
							案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている						✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ※2名 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている ※15名 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ※0名 4. 利用者の1/3には満たない※0名 [具体的な状況・取組内容] ・利用者様及びご家族様が満足できる計画目標を立て、達成できていると思う。 ・表情が明るくなった、以前より歩けるようになった等のお声を頂けたことがある。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られ	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている※2名 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている※15名 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている※0名 4. 利用者の1/3には満たない※0名		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・主治医、看護師な等と連携し対応することで安心感を得られていると思う。 ・訪問看護や泊りの利用等で安心感があると思う。 ・在宅生活で医療が必要な利用者様及びご家族様に対し、訪看が親身になってアドバイスをし必要に応じ訪問してくれたりと安心できると思う。		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている※3名 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている※13名 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている※1名 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない※0名 <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本人、ご家族様には看取りに対しての説明を行い納得して頂いたうえでサービスを提供している。定期的にご家族様にも利用者様の様子やサービス状況について説明を行い安心してもらえるよう努めている。 ・主治医、看護師等と連携することで安心感が得られていると思う。		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」

